

## 【研究に関する情報】

研究課題名	細胞接着分子群と細胞増殖シグナル解析に基づいた若年性骨髄単球性白血病治療法の開発
研究責任者	〈所属(診療科等)〉 血液腫瘍科 〈職名・氏名〉 部長・坂下一夫
研究期間	2022年1月5日(倫理委員会承認日)～2023年12月31日
研究の目的	若年性骨髄単球性白血病(JMML)は根治療法が造血幹細胞移植ですが、再発が多く治癒率は50%前後です。これまでに白血病細胞株(RAS経路遺伝子変異あり)を用いPCDH17を高発現させた場合に増殖抑制が誘導され、MEK阻害剤を用いるとその作用がコントロール群に比べ感受性を増強することを見出しました。さらにHDAC阻害剤を白血病細胞株に作用させるとPCDH17の高発現が誘導され、MEK阻害剤+HDAC阻害剤で相乗効果を持って細胞増殖が抑制されました。今回JMMLの臨床検体を使用しPCDH17の発現及びMEK阻害剤+HDAC阻害剤の効果を検討します。
研究の方法	〈対象となる患者さん〉 当院に微小残存病変測定を依頼した患者さんで余剰検体が残っている患者さん 〈利用する試料〉 末梢血あるいは骨髄血
問い合わせ先	この研究への参加は任意です。あなたの自由な意思が尊重されます。上記の研究に試料を利用することをご了解いただけない場合は、下記へご連絡ください。 なお、研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。 〈研究責任者〉 長野県立こども病院 血液腫瘍科 部長 坂下一夫  〒399-8288 長野県安曇野市豊科 3100 電話：(0263) 73-6700 ファックス：(0263) 73-5432